

伝えたい！
私の街の
産業ニュース

令和7年
8月発行
vol.

37



身体の不自由な方に寄り添う

匠の技

有限会社渡辺溶接工業

代表 **渡辺 良明**（わたなべ よしあき）

住所：西東京市田無町 6-11-9
TEL：042-463-8117



静かな工場に宿る匠の技

重度の身体障害がある方が使用する特殊な車椅子の金属部品を、一つ一つ手作業で丁寧に仕上げる金属加工事業者が、有限会社渡辺溶接工業だ。代表取締役の渡辺良明氏は、50年以上にわたり金属製品製作の技を磨いてきた。

自動車部品から福祉の道へ

昭和45年、渡辺氏が父親と共に創業した。最初の1、2年は自動車部品を手掛けていたが、近隣の車椅子メーカーとの出会いを転機として、重度の身体障害がある方が使用する車椅子の部品製作が中心となった。「同じものを大量に作る自動車の生産に比べ、一つ一つ仕様が異なるものを作るところに魅力を感じた。」と渡辺氏は語る。以来、身体が不自由で車椅子を自由に操作できない方のために、体形や身体状況に合わせた車椅子を製作している。



TIG 溶接機

身体に寄り添う一台を作る

現在、福祉施設などに車椅子を納品している数社の事業者と取引がある。納品した施設で車椅子の金属部分が壊れると、修理を依頼されるが、修理中で車椅子を使えない期間は不便を強いられるというので、迅速に対応しているとい



う。朝に故障した車椅子を引き取り、その日のうちに納品することもある。

当社が手掛ける車椅子には、リクライニング機能やクッション構造、人工呼吸器や痰吸引機を収納するための特殊な棚など、利用者の身体に合わせた特別な仕様が施される。また、入浴専用の車椅子や洋式トイレにそのまま後ろ向きで入れる車椅子なども手掛ける。マンションのエレベーターの乗降口に合わせて幅を狭くすることや、車椅子からベッドに移るときに落ちないような仕様にするなど、多種多様な要望に応えている。要望に応えた車椅子が出来上がると利用者はもちろん、介護者もとて喜んでくれ、それが一番のやりがいとなっている。

自分にはできないものづくり

今後の目標は、「身体の動くうちは仕事を続け、好きなバイクに関することで仕事の幅を広げること。」と渡辺氏は言う。趣味では動画を参考にバイクのカスタムを行っており、その技術は知人から依頼されるほどだ。

また、現在取引のある方々からは、「渡辺さんにやめられたら困っちゃう」と言われており、自分にはできないものづくりができることが、最高の幸せだと感じている。

Information

産業振興課

大切な事業を次世代へ託しませんか？

事業承継個別相談会 開催中！

国が運営している「東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター」の専門相談員が事業承継に関するアドバイスを行います。

事業承継・引継ぎについて考えている中小企業経営者、市内の事業を引継いで創業を検討している方など、お気軽にお問い合わせください。

詳細、お申込はホームページをご確認ください。

無料

完全
予約制

秘密
厳守



詳しくはこちら

